

- 「H2Osakaビジョン」は、水素社会の実現に向けたビジョンとして、国に先駆けて2016年3月に大阪府が策定した。
- 今月策定された「第6次エネルギー基本計画」や近く改定が見込まれる「水素基本戦略」等、最新の国の中長期ビジョンも踏まえつつ、水素社会の実現に向けた大きな起爆剤となる、2025年大阪・関西万博を見据えた水素関連プロジェクトを掲げ、その具体化に向けて産学官が一体となって取り組むことを示すため、本ビジョンを改定することとしたい。

改定にあたっての考え方（案）

◆カーボンニュートラルへの道筋を共有するとともに、2025年大阪・関西万博において活用が期待されるプロジェクト実現に向けて取り組む

- ・「未来社会の実験場」をコンセプトとする2025年大阪・関西万博において、水素に関する最先端の技術を披露し、将来の水素社会の姿を見せることが、水素需要拡大の転機になるものとする。
- ・このため、博覧会協会が設置する「EXPO 2025グリーンビジョン具体化タスクフォース」と連携を取りながら、産学官が一体となって、万博において活用が期待される水素関連プロジェクトの実現を目指すものとしてはどうか。

◆産学官プラットフォーム「H2Osakaビジョン推進会議」が改定する

- ・行政・事業者・支援機関が一体となって水素需要拡大に取り組むことが必要であることを踏まえ、H2Osakaビジョン推進会議を改定の主体としてはどうか。

2025年大阪・関西万博において活用が期待される主な水素プロジェクト案

想定されるプロジェクト	現在	万博2025年	2030年頃の将来像（全国） ※グリーン成長戦略より抜粋
水素発電	FS調査	実証	電源構成に占める割合1%
クリーン水素製造	FS調査	実証	現在の供給量200万tであるところ、300万tに増加(うち、クリーン水素42万t)
F C 船	開発・実証	商業運行	
F C バス	導入見込み	商業運行	

スケジュール（案）

国の水素基本戦略の改定後、速やかに改定する。

時期	ビジョン会議	国等の動き
2021.10	第11回会議【今回】 ・改定主体、改定の方向性について協議 ・協力依頼	第6次エネルギー基本計画策定
	(意見及びプロジェクト収集)	
2022.1	(事務局にて素案作成)	
2022.2-3	第12回会議 ・素案議論	
2022.春		博覧会協会「EXPO 2025グリーンビジョン具体化タスクフォース」とりまとめ



改定